

卓球部紹介

顧問は、井村、畑中、矢野の3名。井村が高体連知多支部長（卓球競技）のため、支部の大会においては、必ず補助役員をすることになる。朝一番の準備から、最後の片付け・ゴミ拾いまで必ず残ってやることになる。支部長の仕事は、言ってみれば雑用だと思っただが、人のために何かをする習慣を身につける経験は、子どもたちの財産になると信じている。年をとっても私のように卓球を楽しめるようになってほしい、と切に願う。

人数は多いが、工夫さえあればきっといい練習ができるはずと思っている。要は意欲がモノを言う。その点で考えると、もっともっと欲を持って練習してほしい。

〔男子〕ポイント獲得者が少しずつ出てきた（元松・平野〔2年〕・森田・竹内佑・吉崎〔1年〕）。女子よりも「卓球が好き。」という気持ちは感じられるが、厳しさに欠け、4強の壁は厚い。新人体育大会知多支部予選会（10月）では、1回戦東海南に3 - 0で勝ったものの、第2シードの半田東（支部2位、県大会6位で東海大会に出場）に1 - 3で敗れた。今の力ではよくがんばったといえる。強化練習会（12月）は、1日目だけ森田が参加。1月の知多地区大会では、森田と吉崎のシングルスベスト32が最高。

〔女子〕小島央花〔1年〕が、中部日本卓球選手権（7月新潟県長岡市）、東海選手権（11月岐阜市）に出場。支部選手権（8月）では、小島は、初優勝を果たした。ダブルスで小島・松原（2年）組が第2位、地頭所（2年）・衣川（1年）組がベスト8。女子学校対抗では、準決勝で半田東に3 - 1で勝ち、決勝の東浦戦ではラストまでもつれたが、2 - 3で惜敗。初めての第2位入賞。新人予選（10月）では、第4シードとして参加。2回戦阿久比に3 - 0で勝ち、念願の4強入り。決勝リーグは2勝1敗で第2位。井村が顧問になってからは初めての県大会出場となった。県大会では、夏の高校リーグで対戦している岡崎商業に2 - 3で敗れ、1回戦の壁はまだ越えていない。ベスト16が次の目標であるが、県レベルで勝負できるよう、意識を変えて練習に取り組む姿勢が肝要だ。

強化練習会には、1日目に松原と小島央、2日目は小島のみが参加。1月の知多地区大会では、ダブルスで松原・小島央組が第2位、地頭所・衣川組がベスト8。シングルスで小島央は決勝で惜敗し、第2位、松原・地頭所・衣川がベスト16。

平成24年1月15日 井村記